

海外安全対策情報（平成28年4～6月期）

1 治安情勢・一般犯罪の傾向

(1) NSW州

治安情勢は総じて安定している。特に殺人被害は、今期の被害者は9人であったが、これはここ20年で最も低い数字である。

ほとんどの犯罪が減少傾向にある中、店舗を対象とした窃盗及び詐欺に関しては増加している。

また、シドニー市街地では、観光客等に対するすり・ひったくり事件が多発していることから注意を要する。

なお、顕著な犯罪の増加傾向が認められる地域は以下のとおり。

○シドニー地域

Central Coast: 強制わいせつ(+23.0%)

Easten Suburbs: 窃盗（店舗を対象）(+22.1%)

Outer South West: 詐欺 (+22.5%)

South West: 窃盗（住居を対象）(+25.0%)

Sutherland: 暴行・傷害（DV関連）(+23.1%)

○Coffs Harbour - Grafton: 詐欺 (+30.5%)、住居侵入(+28.6%)

○Far West and Orana: 窃盗（店舗を対象）(+27.1%)

○New England and North West: 詐欺 (+38.2%)

○New Castle and Lake Macquarie: 強盗（凶器を使用しないもの）(+30.9%)

○Richmond-Tweed: 詐欺(+36.4%)

○Southern Highlands and Shoalhaven: 詐欺(+48.7%)

(2) 北部準州

治安情勢は総じて安定している。暴行、脅迫、性犯罪等の人に対する犯罪は減少（-3.6%）し、窃盗、住居侵入等の所有権を侵害する犯罪も減少（-2.9%）している。

2 テロ・爆弾事件発生状況

オーストラリアのテロの脅威レベルは5段階中3番目（起こりうる）であり、欧州等のテロの発生状況を鑑み、欧州同様イスラム社会を有するシドニーにおいても、ホームグロウンテロリストによるテロの可能性について引き続き警戒が必要である。

3 誘拐・脅迫事件発生状況

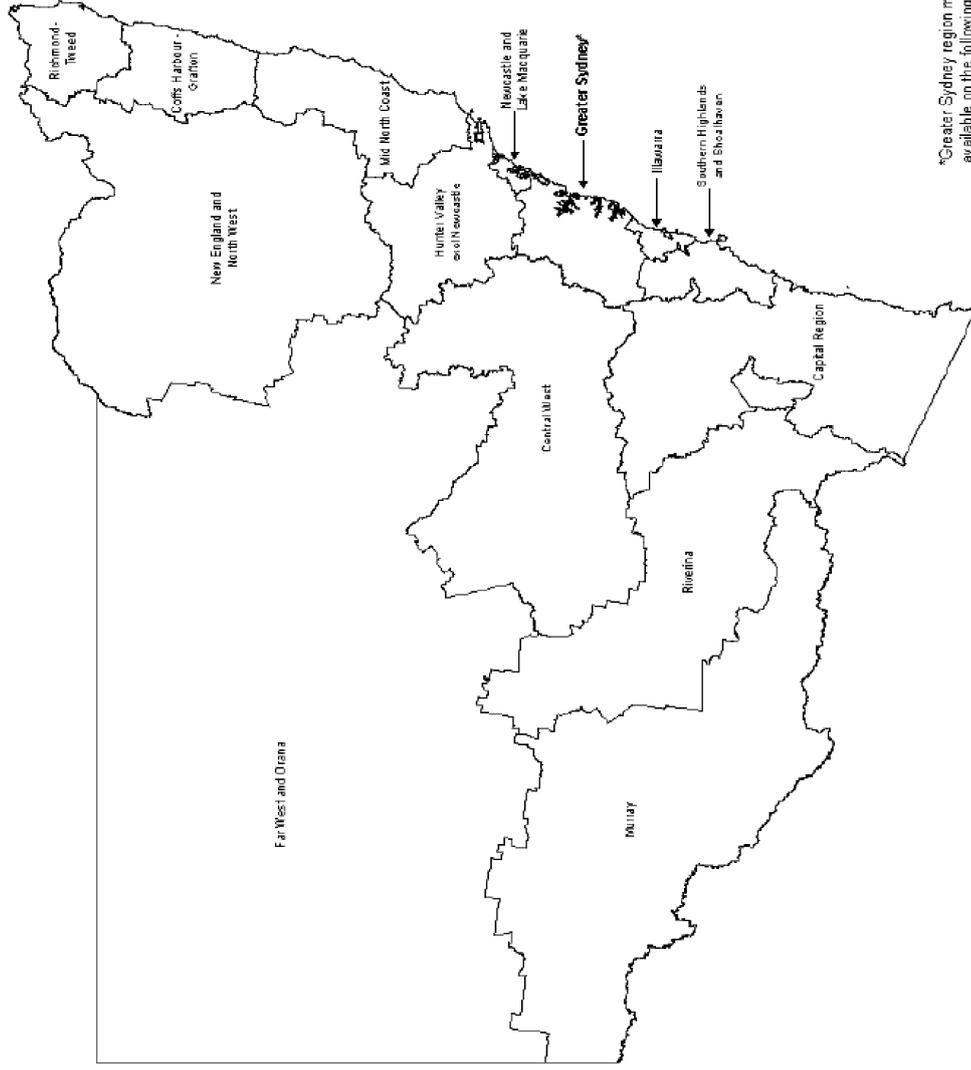
特段注意を要する事件・情報は認知していない。

4 日本企業の安全に関わる諸問題

対日感情は良好であるが、上記のとおりテロが起こる可能性について、引き続き警戒し、公開情報等に注意を払う必要がある。

※統計は、NSW州犯罪統計局及び北部準州警察の公表に基づく（統計期間：2015年7月から2016年6月までの1年間。増減率：前年同期比）。

New South Wales Statistical Areas



*Greater Sydney region map is available on the following page

Greater Sydney Statistical Areas

